

「地域ICT研究成果発表会」を開催

～研究成果の地域展開に向けて4課題を発表～



齊藤局長の挨拶



各研究代表者からの発表



パネル及び研究機器の展示

北陸総合通信局と北陸情報通信協議会は、各代表研究機関等との共催により、平成24年度情報通信月間行事の一環として、6月7日（木）、KKRホテル金沢において、「地域ICT研究成果発表会」を開催し、約80名が参加しました。

本発表会では、平成22年度及び平成23年度に北陸地域で採択された、情報通信技術分野の競争的資金制度である「戦略的情報通信研究開発推進制度（SCOPE）」プログラムの「地域ICT振興型研究開発」の4課題について、各研究代表者等から、研究成果の発表をいただきました。

■平成22年度採択の2課題■

①「石川県伝統産業振興を目指した感性情報伝達技術の研究開発」

研究代表者：北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科 教授 中森義輝 氏

②「健康・安心生活支援のための先進生体計測融合型汎時空ICTネットワークシステムの研究開発」

研究代表者：金沢大学 理工研究域機械工学系 教授 山越憲一 氏

■平成23年度採択の2課題■

①「富山LRTにおけるスマートICTを活用したバリュー創生の研究開発」

研究代表者：株式会社インテック 先端技術研究所グループマネージャー 堀 雅和 氏

②「僻地医療の高度化に向けたユビキタス救急救命システムの研究開発」

研究代表者：福井大学 医学部医学科 教授 井隼彰夫 氏

（発表者：福井大学 医学部 笠松真吾 氏）

最初に、齊藤一雅北陸総合通信局長から、SCOPEの研究成果が高齢者医療や伝統産業活性化等の地域の課題の解決に繋がっていくことに期待する旨の挨拶がありました。

続いて、各課題の研究代表者から、実演（デモ）を交えた熱のこもったプレゼンがあり、会場は熱気に包まれていました。また、パネル・研究機器の展示コーナーでは休憩時間等を利用し、研究代表者・研究分担者に多数の質問が寄せられました。

問い合わせ先：情報通信部電気通信事業課 076-233-4421